

2017. 5. 29

## 第 1 回我孫子北地区地域会議議事録

日 時：平成 29 年 5 月 28 日（日）13 時 30 分～17 時 15 分

会 場：我孫子北近隣センター多目的ホール

出 席：自治会・管理組合 25 団体：（30 名）添付別紙

社協、高齢者なんでも相談室、民児協等 4 団体：（6 名）

事務局委員 8 名

我孫子市・副市長（業務繁多で途中退席）、市民活動支援課：5 名

オブザーバー：10 名

総計 59 名

〈司会・進行〉事務局委員（我孫子北まち協総務部会部会長）

事務局委員（我孫子北まち協広報部会部会長）

### 1) 挨拶：

副市長・市は平成 25 年に「地域コミュニティ活性化基本方針」を策定。これに基づき地域の諸団体が一堂に会し地域コミュニティ活性化の核となる地域会議が発足した。

- ・現在市内では 4 地域で地域会議がスタートし、当我孫子北地区は 5 番目の地域会議となる。地域住民の交流の輪が広がり、安全、安心な街づくりにつながる大きな広がりとなることを期待している。

事務局長（我孫子北まちづくり協議会会長）・昨年 7 月 24 日の自治会、諸団体、市の出席による地域会議説明会を開催、北まち協が事務局を担当することになった。

- ・以来準備会を開催、地域会議の主役はあくまでも市民であり、事務局は会議の開催などを行うが、主導的な立場ではない等役割、立ち位置の確認を行い、12 月 24 日に事務局を立ち上げた。
- ・事務局メンバーには地区 2 社協、高齢者なんでも相談室、地区 2 民児協、並木自治会連合会からの参加を得、北まち協は事務局総務、会計担当の実務を引き受け、バックアップしていく体制を整えた。
- ・本日を我孫子北地域の記念すべき 1 日とし、これから地域会議のために皆さんと一緒に踏ん張っていきたい。

### 2) 出席・参加メンバー紹介（省略、別紙会議次第参照）

### 3) 我孫子市における地域会議の必要性と事例報告：

（プロジェクター使用、別添資料参照）

市民活動支援課長・地域の特性を活かしたコミュニティづくりが大切で、そのために地域の団体同士が顔を合わせて知り合うきっかけの場を作ることが必要で、

地域会議の目的である。

- ・すでに久寺家、天王台北、天王台南、新木の4地域が地域会議を行っており、それぞれ地域に特化した事業を行っている。我孫子北地域は5番目の地域会議となり、市として支援体制をとっていく。

#### 4) 会議の目的と進め方、及び地域会議に関して： (別紙会議次第参照)

事務局長・地域会議とは地域で活躍している様々な団体と市が協力して地域の課題を発掘し、情報を共有、意見交換をしながら行動、解決していく場と考えている。

- ・我孫子北地域会議の組織は事務局とこれを支える北まち協スタッフによる小委員会を備えており、これは他の4地域会議にはない構成となっている。
- ・まず参加者による共通認識の確認と、これをコアにしてこれからの活動につなげていくのが本日の課題である。

#### 5) アンケートの集計結果について： (別添アンケート集計結果参照)

事務局委員・3月31日締め切りで35自治会、2管理組合にアンケートを行った。回答があったのは28自治会、1管理組合である。

- ・「地域会議で話し合いたいテーマ」では①高齢者・高齢化問題、②防災関係、③情報共有、自治会運営の4テーマが多かった。高齢者福祉や子育て支援などに自治会の関心度は高いようであるが現状では何らかの活動を行っている自治会は未だ少ないのが実態である。

(5分休憩)

#### 6) 意見交換：

アンケート結果に基づき上記4テーマに絞り、司会の委員の指名による参加者の発言、意見交換を行った(発言順、所属団体、発言者名は省略)

##### ①高齢者・高齢化問題

- ・親の世代が自治会を立ち上げたのを引き継いでいるが、若い現役世代の参加が少ない。80歳以上は役員等の業務を免除しているが、このままでは自治会の存続は難しい。資源ごみの回収もキャスター付き台車を用意しているが、ごみステーションまでの運搬も困難の住民もいる。
- ・ごみステーションがコミュニケーションの場となっている。若い世代の把握と共同が進み、班長も若い世代が増えてきている。  
ラジオ体操をやったりして元気になることが重要。夏祭りなど若い人を出来るだけ多く呼び込めば、若い人との繋がりが出てくるので大切。
- ・ごみ当番は用具箱設置により、当番の負担が軽減、問題は解決している。役員会は一時間内で終了、役員になり手も増えてきており、自治会運営に問題はない。向こう三軒両隣が仲良くしていくのがポイントと考えている。
- ・前会長の回答内容がわからない。

## ②防災関係

- ・専任の防災会長を5年間やっている。北地域では市の要支援者リストを9自治会が受け取っているが、他地域に比べ圧倒的に多い。いろいろ管理の問題があり、自治会独自の名簿を作りたいが、アンケートの回答率が50%以下で、これからどうするか、できれば地域会議で検討してほしい。
- ・別に自主防災組織があり、当自治会では防災関係は問題になっていない。
- ・要支援者リストを独自に作り、支持者リストも作っている。一定の期間をおいて双方のリストを更新している。マンションでもあり、役員会、住民の高齢化が進む一方では若い人が着実に増えてきている。市は自治会などにいろいろな仕事を押し付け、我々の負担が増えてきている感じだ。
- ・マンションが出来てまだ8年目、高齢化問題はない。現役世代が多いので、災害時に帰宅するまでの住民の対応が問題と考えているが、自治会の対応がすべてではないと思っている。
- ・築29年経過の小規模マンション自治会で、入居当時は朝方幼稚園送迎バスが並んだが、現在はデイケア等介護の車が並んでいる。30～40歳代が少なく、高齢者が圧倒的に多い。高齢化の問題はこれから取り組んでいきたい。防災関係では40～50名の参加を得て、年一回消防訓練を行っている。
- ・自治会レベルではあまり高齢化に伴う問題は表面化していないが、一人暮らし、要介護、認知症、核家族化に伴う地域からの相談件数が増えてきている。

## ③情報共有・自治会運営

- ・先週防災関係の集まりがあったが、今回もまた防災の話で、なぜこうも同じ話が続くのか。23世帯の小さな自治会でもあり、自治会長の負担が重過ぎる。
- ・北地区として地域会議に何を期待しているのか、どういう活動をするのか、事前にわからないとなかなか前へ進めない。地域会議でのテーマを先に決めてほしい。
- ・市はいろいろな問題をおしつけようとしていないか。市独自で解決しなければならない問題があるのではないか。
- ・商店が少なくなったりして来ている。安心して末永く住み続けることができる街づくりのための話合いの場が必要ではないか。

## 7) 今後の進め方と日程：

事務局委員・安心、安全な街づくりのために地域会議で何ができるのか、今回の議論を吸収、くみ上げて次回会議までにテーマを絞り込み、提案をしたい。

- ・第2回会議の日程は3～4か月後、8月ないし9月を予定したい。

市民活動支援課長・本日の議論、論点を整理して地域会議の今後の方向を決めていきたい。

- ・地域の住民の方々に協力してもらおうことが多くなっているが、よりよい街づ

くりを進めるためにも、引き続きご協力をお願いしたい。

**8) 懇談会**：(16時15分～)

出席者を4グループに分け、ティーパーティーを開催。交流を深める。

**\* 市民生活部長が来会、挨拶** (16時40分)

- ・我孫子市も超高齢化、人口減に直面し、様々な面で運営が厳しくなっている。地域の諸団体とのつながりもこれまでと異なり、横ぐしを通した形で情報を共有化、課題解決に取り組んでいただきたい。市としては地域会議に対し人的支援、資金面からの支援を行う方針であり、支えあっていきたい。

**9) 閉会**：(17時15分)

事務局委員（我孫子北まち協副会長）による閉会の辞。

- ・同委員より「一つのアイデアとして本会議のスローガンを考えて頂くことも良いのではないかと思うほど出席者の皆さんの熱心な良い会議だったと思います」とのコメントあり。

以上